

量子ワーキンググループの開催について

〔 令和 8 年 1 月 19 日
内閣府特命担当大臣決定案 〕

1. 日本成長戦略会議における量子分野の検討を進めるため、量子ワーキンググループ（以下「WG」という。）を開催する。

2. WGの構成員は、次のとおりとする。ただし、座長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めることができるものとする。

座長	内閣府特命担当大臣（科学技術政策）	
座長代理	科学技術政策を担当する内閣府副大臣 科学技術政策を担当する内閣府大臣政務官	
構成員	伊藤 公平	慶應義塾塾長
	遠藤 典子	早稲田大学研究院教授
	島田 太郎	一般社団法人量子技術による新産業創出協議会 代表理事
	鈴木 一人	国立大学法人東京大学公共政策大学院教授
	波多野 睦子	国立大学法人東京科学大理事・副学長
	益 一哉	国立研究開発法人産業技術総合研究所 量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター センター長
	松岡 智代	株式会社 QunaSys COO

3. WGの庶務は、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、防衛省その他の関係行政機関の協力を得て、内閣府において処理する。

4. 前三項に定めるもののほか、WGの運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

量子ワーキンググループ運営要領

令和8年1月30日
内閣府

量子ワーキンググループの開催について（令和8年1月19日内閣府特命担当大臣決定）
第4項の規定に基づき、日本成長戦略量子ワーキンググループ運営要領を定める。

（会議の運営）

第1条 量子ワーキンググループの運営については、この運営要領の定めるところによる。

2 量子ワーキンググループに副座長を置く。副座長は、座長が指名する。

（議事内容等の公表）

第2条 本ワーキンググループの議事は、非公開とする。

2 座長又は副座長は、量子ワーキンググループの議事要旨を、量子ワーキンググループの終了後、遅滞なく、適当と認める方法により公表する。

3 前項に規定する議事要旨において、ワーキンググループ構成員の意見を記載する際は、原則として、発言者の氏名を伏す。

4 前2項の規定により議事要旨を公表する際は、量子ワーキンググループにおいて配布された資料のうち、公開が可能なものについて併せて公開する。

（雑則）

第3条 この運営要領に定めるもののほか、ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、座長が定める。